

市民意識調査の結果

◇配布数 2000通
 ◇回収数 1071通
 ◇回収率 53.6%

市民の皆さんが市政に何を求めているかを把握し、今後の参考にするため、市民意識調査を実施しました。無作為に抽出した16歳以上の男女2000人を対象に、昨年9月に調査票を郵送し、回答していただきました。結果を取りまとめた報告書を作成しましたので、その一部をお知らせします。

定住意向

●「住み続けたい」は8割以上

昭島市に「今後とも住み続けたい」は54.7%、「どちらかという住み続けたい」は27.7%でした。理由は、「便利で暮らしやすい」、「むかしから住んでいる」、「緑が多く自然環境が良い」などでした。また、「どちらかという住み続けたいとは思わない」は4.0%、「住み続けたいとは思わない」は1.8%でした。理由は、「買い物や交通が不便だから」、「車や飛行機の騒音がうるさいから」などでした。

暮らしの満足度

●暮らしに「満足している」は8割以上

現在の暮らしに「非常に満足している」は9.7%、「まあ満足している」は72.3%でした。「満足していない」と答えた方の理由は、「仕事のこと」、「暮らし向きのこと」、「生活環境のこと」などでした。

地域活動・生涯学習

●地域での活動は「自治会」、「スポーツ・レクリエーション」など

参加している地域活動は、「自治会などの地域貢献活動」が20.7%、「スポーツ・レクリエーション活動」が9.5%などでした。また、「していないが、機会が



あればしたい」が30.8%で、参加できない理由は、「活動する時間がない」が43.4%、「きっかけが得られない」が26.9%などでした(複数回答)。

●週に1回以上、スポーツやレクリエーションに親しんでいる方は4割近く

スポーツやレクリエーションを「毎日している」は10.6%、「週に1回」は27.5%、「月に1回」は10.3%、「ほとんどしていない」は44.1%でした。

●この1年間に芸術鑑賞を「したことがある」は5割近く

この1年間に音楽、演劇、美術などを外出して「鑑賞したことがある」は48.8%、「興味はあるが機会がない」は17.7%、「近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい」は16.5%、「興味がない」は12.0%でした。

環境

●地球温暖化防止に「取り組みたい」は9割近く

地球温暖化防止に「多少、生活に不自由を感じても、積極的に取り組みたい」は18.1%、「できる部分があれば取り組みたい」は68.7%でした。

また、ごみ減量化のために日頃から取り組んでいることは、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋はもらわない」が65.7%、「食品ロスを減らすため、食べ残しを極力少なくする」が54.3%、「詰め替えや繰り返し使用できる商品を選択して購入する」が53.3%、「メモ紙などの小さな紙も可燃ごみとせず、雑誌・雑古紙として出す」が44.7%、「トレーや牛乳パッ

クはスーパーマーケット等の店頭回収に出す」が44.0%などでした(複数回答)。

昭島の水道水

●昭島の水道水が地下水100%であることを知っている方は9割半ば

地下水100%であることの認知度は、非常に高いといえます。また、このおいしい水の供給を続けるために必要だと思うことは、「節水に心がける」が50.0%、「地下水が汚れないように規制する」が22.7%、「雨水を地下に浸透させる」が6.0%などでした。

災害対策

●市がすべき災害対策は「食料・飲料水などの備蓄」が7割近く

市がすべき災害対策は、「食料・飲料水などの備蓄」が67.5%、「正確・迅速な情報伝達」が55.2%、「避難場所・避難道路などの整備」が34.7%などでした(複数回答)。なお、災害に対して日頃から備えていることは、「懐中電灯や携帯ラジオ」が66.9%、「飲料水や食料」が53.7%、「避難場所を知っている」が53.2%などでした。また、「何もしていない」は11.1%でした(複数回答)。

都市景観

●昭島の街並みを「美しいと思う」は4割近く

昭島の街並みを「たいへん美しいと思う」は6.3%、「まあまあ美しいと思う」は32.6%、「普通」は48.9%でした。

また、昭島らしい街並みや景観は、回答の多い順に、「国営昭和記念公園」、「多摩川」、「玉川上水」、「湧き水のあるところ」などでした(複数回答)。



少子高齢化

●子育てをしやすい環境づくりに必要なことは「保育所などの施設の充実」が6割半ば

子育てをしやすい環境づくりに必要なことは、「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」が66.0%、「子育ての経済的負担の軽減」が54.7%、「保育時間延長・一時預かり・病後児保育などのサービスの充実」が43.9%でした(複数回答)。

●老後の不安は「健康」、「年金などの安定収入」、「介護」

老後で不安を感じることは、「健康」が31.4%、「年金などの収入が安定して得られるかどうか」が31.0%、「介護が必要になったとき、必要な介護を受けられるかどうか」が20.7%などでした。

また、高齢者のための施策として重要だと思うものは、回答の多い順に、「医療制度・医療施設の充実」、「介護サービス(入所施設)の充実」、「介護サービス(在宅・通所)の充実」などでした(複数回答)。

広報

●市に関わる情報の入手方法は「広報あきしま」が約9割

市に関わる情報をどのような方法で入手しているかは、「広報あきしま」が90.1%、「あきしま市議会だより」が32.3%、「自治会などの回覧板」が25.3%、「昭島市公式ホームページ」が21.5%、「昭島市市民便利帳」が14.0%などでした(複数回答)。

情報化

●インターネットの利用状況

インターネットの利用環境は、「スマートフォン」が53.7%、「自宅のパソコン」が45.5%、「タブレット」が16.9%、「職場・学校のパソコン」が15.8%などでした(複数回答)。

また、自治体が提供するインターネットによるサービスで、利用しているもの、または、利用したいものは、回答の多い順に、「災害時や不審者情報等のメール配信サービス」、「イベントや各種健診・講座などの申し込み」、「公共施設の予約・申し込み」、「図書館の蔵書貸出予約」などでした。

男女共同参画

●男女の地位が対等だと思うのは「教育の場」、「余暇生活」

男女の地位が対等であると答えた割合は、分野ごとに、「教育の場」が66.3%、「余暇生活」が48.7%、「法律や制度」が44.9%、「社会活動の場」が41.2%などでした。

また、家庭生活の優先度は、「家庭生活を優先している」が32.7%、「仕事と家庭生活をともに優先している」が19.9%、「仕事を優先している」が14.0%などでした。

市政・市役所

●昭島の魅力は「地下水100%の水道水」が9割近く

昭島の良さを伝えるとしたら何を伝えるかについては、「地下水100%の水道水」が87.6%、「水や緑といった自然環境に恵まれている」が41.7%、「住環境がよい(住みやすい)」が37.0%などでした(複数回答)。

●訪れたい・住みたいと思わせるまちづくりのためには

昭島市を訪れてみたい、住んでみたいと思われるようなまちにするためには、どのようなことに

力を入れたらよいかについては、「空き店舗の効果的活用など、既存商店街の活性化」が40.2%、「大型のスーパーマーケット・専門店などの商業施設の充実」が34.9%、「演劇、音楽、美術といった芸術鑑賞などの支援・機会の充実」が25.5%、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」が20.9%、「郷土芸能や郷土資産などの伝統的な地域文化の振興」が20.9%などでした(複数回答)。

●市民の声を「反映している」は1割半ば

市政は市民の声を反映しているかについて、「反映している」は15.8%、「反映していない」は19.0%でした。

また、市政への参画・協働のための方法は、「市による各種アンケート」が45.3%、「各種ボランティア活動への参加」が18.6%、「市長への手紙など」が13.0%などでした(複数回答)。

●市役所の窓口サービス

市役所の窓口サービスは、「良い」が20.6%、「まあまあである」が21.1%、「悪い」が5.9%でした。

なお、「悪い」と感じた理由は、「職員の態度や言葉づかいが悪かった」が44.4%、「時間がかかった」が11.1%、「一つの窓口で用が済まなかった」が7.9%などでした。

調査にご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

結果を取りまとめた報告書は、市役所2階行政資料コーナーや市民図書館など、市の施設でご覧いただけるほか、市ホームページに掲載しています。☆詳しくは、オンブズパーソン・市政相談担当へ。

市ホームページ内の市民意識調査のページは、こちらから▶

